

# ニュースがわからん!

## 「失笑」の本来の意味、知らなかった



### 意味が揺れている言葉の例

本来の意味	割合	失笑	最近の解釈	割合
こらえきれず 噴き出す	27.7%	失笑	笑いも出ないほど あきれられる	60.4%
なよなよ	14.7	にやける	薄笑いを 浮かべる	76.5
一時しのぎ	15.0	姑息	ひきよう	70.9
要点	35.1	さわり	最初の部分	55.0
ぼんやり	17.1	ぶぜん	立腹	70.8

国語世論調査(2007~11年度)から抜粋

The Asahi Shimbun

## 別の解釈をする人が多い。言葉は生きものなんだ

アウルさん 「失笑する」って「こらえきれず噴き出す」という意味だったのね。知らなかった。

A 文化庁の国語世論調査では本来の意味で使う人は3割だけ。「笑いも出ないほどあきれられる」ことだ。これを念頭に「嘲笑」の意で使う人も

いくらいあきれられる」という人が、その倍もいたんだ。ア 「失笑を買う」とって

「愚かな言動で笑われる」ことだ。これを念頭に「嘲笑」の意で使う人も

合わせが掲載のきっかけになることもあるよ。

ア 何か基準はあるの？

A 「不言実行」をもじってできた「有言実行」の場合、三省堂の「大辞林」に載ったのは95年の第2版だけど、岩波書店の「広辞苑」は2008年の第6版で、13年も違う。出版社によってこれだけ差がある。

ア 朝日新聞では意味が揺れている言葉を使うときは、どうしているの？

A 例えは「雨模様」。本来は降り出す前の様子だけど、降った時に使う人もいる。誤解が生じないように、なるべく他の表現に書き換えるようにしている。

ア 難しいわね。

A 意味が揺らぐのは言葉が生きている証し。メルやツイッターで、話すように文章を書く機会が増えたと、なおさら敏感でいた

決める。利用者からの問い合わせ。 (野村ひとみ)